

作成日 2022/03/08

改訂日 2022/11/16

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	48%苛性カリ
製品コード	I2203-001
供給者の会社名称	サンワ化学株式会社
住所	静岡県袋井市浅羽2777-1
担当部門	品質保証部
電話番号	0538-23-6611
FAX番号	0538-23-7918

2. 危険有害性の要約
化学品のGHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分3 皮膚腐食性/刺激性 区分1 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分1(呼吸器) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
-------	--

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H301 飲み込むと有毒 H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷 H370 呼吸器の障害 H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害
注意書き	
安全対策	粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260) 取扱い後はよく手を洗うこと。(P264) 保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。(P280)
応急措置	飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。(P301+P310) 飲み込んだ場合: 口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331) 皮膚又は髪に付着した場合: 直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353) 眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338) ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。(P308+P311) 直ちに医師に連絡すること。(P310) 特別な処置が必要である。(P321) 口をすすぐこと。(P330)

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 化学名又は一般名		混合物 KOH			
化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
水酸化カリウム	48%	KOH	(1)-369	既存	1310-58-3
水	52%	H ₂ O	不明	不明	7732-18-5

4. 応急措置

吸入した場合

気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

直ちに医師に連絡すること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

飲み込んだ場合

ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

飲み込んだ場合、直ちに医師に連絡すること。
口をすすぐこと。

特別な処置が必要である。
ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

この製品自体は、燃焼しない。

使ってはならない消火剤

情報なし

火災時の特有の危険有害性

燃焼ガスには、一酸化炭素などの有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙の吸入を避ける。

特有の消火方法

消火作業は、風上から行う。

周辺火災の場合に移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。

火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

消火作業では、適切な保護具(手袋、眼鏡、マスクなど)を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

作業には、必ず保護具(手袋・眼鏡・マスクなど)を着用する。

多量の場合、人を安全な場所に退避させる。

必要に応じた換気を確保する。

環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材

漏出物を河川や下水に直接流してはいけない。
少量の場合、吸着剤(土・砂・ウエスなど)で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾などでよく拭き取る。大量の水で洗い流す。

多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてからドラムなどに回収する。

二次災害の防止策

付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

床に漏れた状態で放置すると、滑り易くスリップ事故の原因となるため注意する。

漏出物の上をむやみに歩かない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
蒸気またはヒュームやミストが発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

安全取扱注意事項

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。

保管

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

安全な保管条件

『10. 安定性及び反応性』を参照。

施錠して保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
水酸化カリウム	未設定	【最大許容濃度】 2mg/m ³	TWA -, STEL C 2 mg/m ³

設備対策

蒸気、ヒューム、ミストまたは粉塵が発生する場合は、局所排気装置を設置する。
取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。

保護具

呼吸用保護具

必要に応じて、適切な呼吸器用保護具を着用すること。

手の保護具

必要に応じて、適切な保護手袋を着用すること。

眼、顔面の保護具

保護眼鏡、保護面を着用すること。

皮膚及び身体の保護

必要に応じて、適切な保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

形状

液体

色

無色

臭い

無臭

融点／凝固点

-3°C

沸点又は初留点及び沸点

140°C

範囲

可燃性

不燃性

引火点

引火せず

pH

≥14 (1mol/L)

溶解度

水に易溶

n-オクタノール／水分配

-3.88

係数

蒸気圧

0.41kPa (20°C)

密度及び／又は相対密度

比重 1.496(20°C)

水酸化カリウムとして

融点／凝固点

36.04°C

沸点又は初留点及び沸点

1320°C

範囲

溶解度		水:97g(100g, 0°C), 水:178g(100g, 100°C), メタノールに易容, 100gのエタノールに29.0g可容(28°C), グリセリンに易容, エーテルに不溶, アンモニアに不溶
密度及び/又は相対密度		2.055
10. 安定性及び反応性		
反応性		通常の実験条件では安定である。
化学的安定性		情報なし
危険有害反応可能性		アルカリ性なので酸と反応し発熱する。 アルミ、すず、亜鉛、クロムなどの金属と反応して、可燃性の水素を発生しこれが空気と混合して引火爆発することがある。 水で希釈すると希釈熱が発生する。
避けるべき条件		熱源、炭酸ガス、酸
混触危険物質		酸、金属類
危険有害な分解生成物		情報なし
11. 有害性情報		
急性毒性	経口 経皮 吸入	急性毒性推定値が273mg/kgのため区分3とした。 データ不足のため分類できない。 (気体) GHS定義による気体ではない。 (蒸気) データ不足のため分類できない。 (粉じん・ミスト) データ不足のため分類できない。 区分1の成分合計が48%のため、区分1とした。 眼区分1の成分合計が48%のため、区分1とした。
皮膚腐食性/皮膚刺激性		
眼に対する重篤な損傷性		
/眼刺激性		
呼吸器感作性		データ不足のため分類できない。
皮膚感作性		データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性		データ不足のため分類できない。
発がん性		データ不足のため分類できない。
生殖毒性		(生殖毒性) データ不足のため分類できない。 (生殖毒性・授乳影響) データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		区分1(呼吸器)の成分が48%のため、区分1(呼吸器)とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		区分1(呼吸器)の成分が48%のため、区分1(呼吸器)とした。
誤えん有害性		動粘性率が不明のため、分類できないとした。
12. 環境影響情報		
水生環境有害性 短期(急性)		(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとされた。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
水生環境有害性 長期(慢性)		(毒性乗率 × 100 × 区分1)+(10 × 区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとされた。 毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
生態毒性		データなし
残留性・分解性		データなし
生体蓄積性		データなし
土壤中の移動性		データなし
オゾン層への有害性		データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意
残余廃棄物

廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和などの処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。

内容物／容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託すること。

汚染容器及び包装

容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意
国際規制

海上規制情報

IMOの規定に従う。

UN No.

1814

Proper Shipping Class

水酸化カリウム(水溶液)

8

Packing Group

II

Marine Pollutant

Not applicable

Liquid Substance

Not applicable

Transported in Bulk

According to

MARPOL 73/78,

Annex II, the IBC

Code

航空規制情報

ICAO/IATAの規定に従う。

UN No.

1814

Proper Shipping Class

水酸化カリウム(水溶液)

8

Packing Group

II

国内規制

陸上規制

毒劇及び劇物取締法の規定に従う。

海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

国連番号

1814

品名

水酸化カリウム(水溶液)

クラス

8

容器等級

II

海洋汚染物質

非該当

MARPOL 73/78 附

非該当

属書II 及びIBC コー

ドによるばら積み輸

送される液体物質

航空規制情報

航空法の規定に従う。

国連番号

1814

品名

水酸化カリウム(水溶液)

クラス

8

等級

II

緊急時応急措置指針番号

154

15. 適用法令
労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9)

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9)

水酸化カリウム(政令番号:316)(40%–50%)

腐食性液体(労働安全衛生規則第326条)

劇物(指定令第2条)

水酸化カリウムを含有する製剤(48%)

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

水質汚濁防止法
海洋汚染防止法

外国為替及び外国貿易法
船舶安全法
航空法

港則法

道路法

労働基準法

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)
有害でない物質(施行令別表第1の2)
有害液体物質(Y類物質)(施行令別表第1)
輸出貿易管理令別表第1の16の項
腐食性物質(危規則第3条危険物告示別表第1)
腐食性物質(施行規則第194条危険物告示別表第1)
その他の危険物・腐食性物質(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)
車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)
疾病化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第4号1)

16. その他の情報
参考文献
その他

NITE

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づき作成していますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。未知の有害性があるため、取り扱いには細心の注意が必要で、ご使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願い致します。